

A large crowd of people is gathered outdoors, sitting on the ground in front of a building. The building has a sign that reads "の 値さ示した 何知さ" (What I don't know is the value of it). The scene is outdoors, likely a public square or park, with a large building in the background.

日本二十六聖人殉教者の祝日である2月5日を前に、4日(日)14時から西坂公園で、長崎大司教区主催 長崎南地区評議会担当による殉教記念ミサが行われた。ミサは中村倫明大司教の主司式 高見三明名誉大司教と30人余の司祭団の共同司式のもと、フィリピンからの巡礼団31人を含め教区内外から集まった約1200人が殉教者を思い、共に祈りをささげた。ミサは聖歌の歌声が響く中、二十六聖人の一人、聖ディエゴ喜斎の聖遺物を先頭に司祭団が入堂して始まった。



写真は2月4日。上の段から…西坂で祈りのうちに説教を聴く人々、説教をする辻原達也師、ミサのはじめに聖ディエゴ喜斎の聖遺物（写真中央に写る顕示台に安置）に関して説明をする日本二十六聖人記念館館長のデ・ルカ・レンゾ師。

也師（小ヶ倉・大山主任）は初めに、30年前、自身が司祭になるときに恩師がくださったという「真実の愛に堪える者でありなさい」との言葉を引き、語った。

「真実の愛、愛の極みと呼ばれる礎になったお方イエス・キリスト」を前に異教徒の百人隊長が「この方は神の子だった」と宣言したこと、また、大罪人として扱われる中でもすべてを穏やかに受けとめ感謝の祈りと賛美の歌をささげた26人の殉教者たちの姿を通して、大勢の人々が「愛とゆるしのまこと」の神が実在し、人間とはその愛を生きていると高き方の子である」と知ったことについて触れた。最後に「痛み、悲しみ、苦しみに立ち会うことはつらく怖いことです、目を背けず、私が信じたお方、主キリストの『世の終わりまでともにいる』その約束に励まされ、ぶざまでも不器用でも殉教者のあとに何とか食らいついて、真実の愛

に堪える者でありたいとそう願って祈りたいと思います」と結んだ。

前日まで雨が降り殉教地でのミサ開催が危ぶまれたものの、当日は明るい陽が差し、恵まれた天気となった。会場設営をはじめ多くの準備に対応した関係者らいと感謝の言ちから聞かれ者も合わせ々まった多くのりと感謝の一合った。

このミサにめに福岡から付けたという信徒カリンさ聖人記念館のブックでミサりました。来日ずっと参加していましたがその影響もあつ



●教皇
世界各地で福音のために生命の危険にさらされている人々が、その勇敢と宣教の思いを教会に伝える者となるように聖職者によって心と体に深い傷を負った方々が、いつくしみ深い神のいやしによって慰められるように

●日本

() 内は前任地など

▼オプス・デイ(1月22日付)(1)は3月31日着任)
篠崎 迪明ふみあき 三川台スタディ・センター

木村 昌平 師 大阪高松大司教区

(三川台スタディ・センター)

教皇フランシスコは1月25日付で、新しい駐日教皇大使にベネズエラ出身のフランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教を任命したことを発表した。エスカランテ・モリーナ大司教は2021年からハイチの教皇大使を務めていた。

「カリタス」とサポートセンター」開設

1月1日能登半島地震の発生直後から随時お知らせを発信している名古屋教区（松浦悟郎司教）は1月20日、「能登半島地震被害についての報告と対応（4）」を通して、金沢教会内に設置された「カリタスのサポートセンター」がこの日から活動を開始したこと、また、今後の活動について伝えた。

大司教館で司祭研修会



2月6日(火)、司祭研修会が大同教館第1会議室を会場に開催。今回はオンライン形式

あつた(写真)。虐待の捉え方、発生要因、子どもが受ける影響、予防や対応、現状などについての

■教会内支援(教会の修復や被災された信徒の方への見舞金など)のため

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
※通信欄に「のと地震」と明記してください。
「NOTO」あるいは「のと」だけでも可。
※お寄せいただいた救援金は、公益性の高い
他の活動（被災地域全般）についても使わ
せていただくことがあります。

■被災地での支援活動ならびに広く被災された方々への支援関連活動のため

郵便振替 00170-5-95979
加入者名 宗教法人カトリック中央協議
会 カリタスジャパン
*通信欄に「能登地震」と明記してください。

略歴 1965年1月29日ラ・グリタ（ベネズエラ）で生まれる。89年8月26日司祭叙階。ベネズエラ・サンクリストバル教区に在籍。教会法を修める。98年6月13日聖座外交団に加入。以下の教皇庁大使館で聖座外交官を務める。スーダン、ガーナ、マルタ、ニカラゲ

ア、日本、スロベニア。2016年3月19日コンゴ共和国の教皇大使、同時にグラツィアアナ名義大司教に任命。同年3月21日駐ガボン教皇大使に任命。21年6月4日駐ハイチ教皇大使に任命。スペイン語、フランス語、英語、イタリア語を話す。

同センター長の片岡義博神父（名古屋教区）は今後の活動について、「カトリック幼稚園再開のための水支援」と「みんなれも同文書」。

の現状知る

教館で司祭研修会

ではなく直接集まる形で行われ、約80人の司祭が参加した。

はじめに、講師の柿田多佳子氏（長崎純心

講話の後、質疑応答が行われた。全国の子どもの100人に1人が虐待を受けているという現状、しつけのつもりが虐待になっている可能性があること、地域社会全体で見守ることの大切さなど、新たな気づきを得る貴重な機会となった。

次に、教区シノドス推進コアチームリーダーの岡秋美師の進行により、教区の11委員会の活動紹介が行われた。

最後に、教区会計担当から会計業務、教区本部事務局の移転に関する説明が行われ、研修会を終了した。

★ ★ ★
ほしかげ
★ ★ ★

今年は2月14日、灰の水曜日からの40日間、わたしたちは四旬節を過ごす。四旬節は元来、洗礼の準備期間だった。復活の徹夜祭に新しく洗礼を受ける洗礼志願者の準備として、イエスが公生活のはじめに砂漠で40日断食をされたことにならい、40日の祈りと節制をする期間としてはじまった。やがて既に洗礼を受けた人も洗礼を受けた時の心をもう一度新たにするために、全教会で行われるようになっていった

▲第1主日の福音箇所は荒れ野における40日間のイエスの試みと悔い改めの呼びかけ、第2主日はキリストの変容、第3主日は神殿における死と復活の予告、第4・第5主日は十字架と復活によるキリストの未来の栄光についてのヨハネ福音書の箇所が読まれる▲第2バチカン公会議の『典礼憲章』によると「四旬節の二重の性格が、典礼においても典礼に関する信仰教育においても、いっそう明らかにされなければならない。すなわち、とくに洗礼の記念または準備を通して、そして悔い改めを通して、信者は神のことはをいっそう熱心に聞き、祈りに励んで、過越の神秘を祝うために備える」。また、悔い改めは、単に内的で個人的なものであるだけでなく、外的で社会的なものとしてされている▲四旬節は、キリストの死から復活への過越の神秘にあずかる信仰を確認する時。その心を大切にしながら、この40日を過ごしていきたい。(＠)

長崎大司教区諸活動部門 11委員会について

2024年3月現在



シノドスコアチームの主なメンバー(昨年7月の会議で。長崎大司教館)

11の委員会がある長崎大司教区諸活動部門は現在、第7期(2021年度～23年度)を終えようとしている。2001年4月に教区の中に委員会が設置されて以降、委員会や委員会が属する部の新設・廃止といった再編が繰り返し行われ、現在の体制となった。各委員会はそれぞれ、司祭・信徒ら数人～10人前後のメンバー(委員と協力者)を擁する。第7期のほとんどの期間はコロナ禍の影響のため委員会活動が十分にできない状況にあったが、それでも活動は地道に続けられてきた。また、教区シノドス公式提言の推進についても2022年12月に担当司祭が2人任命され、昨年からは11委員会の委員長と教区シノドス担当者、司教総代理、教区本部事務局長で構成されるシノドスコアチームの会議も始まり、本格的な動きが見られつつある。次年度からは第8期。新たな取り組みが始まることを期待するとともに、いま一度11委員会についてその目的・役割、活動内容などを、紙面を通して紹介・共有したい。

委員会・委員長	モットー〔みことば〕	目的・役割	活動内容・呼びかけたいこと
信仰教育 中島 誠志 師	お父さんもわたしも心配して捜していたのです。 ルカ 2・48	福音宣教には、信仰を成長させることも含まれる(『福音の喜び』160参照)。今の小中学生を対象に「キリストがわたしの内に生きておられる(ガラテヤ2・20)」心のために、イエスさまを知り、祈りを学び、案内する方の取り組みを促す。	小中学生の家庭や教会学校など「信仰を成長させる」分野において、アンケートから現状を踏まえ、堅信クラステキスト作成作業、カテキスタ養成など、これまでを考え、これからに生かす方法を模索する。 📖 ミサや教会学校の同じ空間と時間を親子で一緒に味わい、帰りにはイエスさまが今の自分たちに言いたいことはどんなことかを分かち合ってはいかがでしょうか。
青少年 川端 志範 師	あなたは、年が若いということで、だれからも軽んじられてはなりません。むしろ、言葉、行動、愛、信仰、純潔の点で、信じる人々の模範となりなさい。 テモテ I 4・12	青少年の信仰養成のための具体的な活動を、サポートまたは行い、次代を担う青少年たちが、教会活動の中での自分たち独自の役割を見だし、自覚しながら活動できるように励ます。	青少年の信仰についての考え方、その教育についての研究、資料収集し、教区・小教区での青少年の活動の場の開設を検討し、巡礼やボランティア、社会運動などを呼びかける。 📖 若者たちも「ともに」集まる教会であるよう、どうぞ教会の青年とお話ししてください。青年活動についてご要望があればお手伝いいたします！
生涯養成 山添 克明 師	ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。 マルコ 4・8	成人の信徒がキリスト者、宣教者としてより成長することができるよう養成の手助けを企画提供していく。さらには、信徒の枠を超えて多くの方々にキリストの教えに興味を持っていただく。	年間を通じて、カトリック講座・聖書講座を企画・実行し、受講者に分かりやすく、キリストの教えを提示していく。 📖 「ともにやさしく学ぶ」をモットーに、講座会場・オンラインを通してできるだけ多くの皆様と「キリストの教えを分かち合える場」となることを願う。引き続き、当委員会へのご協力、参加をよろしくお願いします。
平和推進 鍋内 正志 師	平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。 マタイ 5・9	被爆地を持つ教区として、キリストの平和に満たされて、苦しんでいる人々に寄り添い、行動する。	平和旬間や毎月9日の祈りの呼びかけ。高校生沖縄平和学習、秋の平和学習などの教育、啓蒙活動。「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」の具体化を目指す。 📖 毎月9日に「平和の祈り」を唱えよう、と呼びかけています。
人権 川口 昭人 師	天が裂けて“霊”が鳩のように御自分に降って来るのを、御覧になった。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。 マルコ 1・10-11	教区の皆様に人権の問題に関わるさまざまな活動を知っていただくよう努め、聖職者に限らず多くの信徒・一般の人々と活動していくことも一つの目標である。	人権委員会は、第4期以降「難民移住移動者部会」と「部落問題対応部会」を統合して設置された。日本カトリック司教協議会の組織(難民移住移動者委員会と部落差別人権委員会)と関わりながら活動している。 📖 つながれば、それを活かしていきたいです。
福祉 大瀬良 直人 師	病人は答えた。「主よ、水が動くとき、わたしを池の中に入れてくれる人がいないのです。(中略)ほかの人が先に降りて行くのです。」イエスは言われた。「起き上がりなさい。床を担いで歩きなさい。」 ヨハネ 5・7-8	既存の福祉団体を信仰教育と広報活動によって支援し、その啓蒙と促進を通して信徒の信仰生活の活性化を図る。	福祉団体に対し、助言と提言で側面的に支援。小教区の福祉世話人の研修会、講演会、子どもの福祉の集い、ホームページの開設検討中。
エキュメニズム・諸宗教 竹谷 誠 師	隣人を自分のように愛しなさい。 マタイ 22・39	各宗派の相違を尊重し、プロテスタント教会、および諸宗教との交流を進め、ともに福音化に奉仕することを目指す。	現在、携わっている事業内容をまず研修しつつ、宗教者同士のかかわりを深め、社会の中での宗教のあり方を再確認する。 📖 8月8日爆心地公園での原爆殉難者慰霊祭、1月第3日曜日のキリスト教一致礼拝、毎月第3火曜日の朝祷会に参加ください。また、当委員会に興味がある方の参加をお願いいたします。
家庭 大水 満 師	イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。 ルカ 24・15	家庭そのものに目を向け、宣教の場であるキリスト教的家庭の実現を目指す。	委員会の目的・役割にそった講演会、SNS活動、カレンダー作成などを行う。 📖 家庭の信仰といのちを大切にしていきましょう。
召命 辻原 達也 師	収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。 マタイ 9・37-38	司祭、修道者の召命(司祭叙階、および誓願宣立まで)促進と育成。	すでに行われている教区内の召命関連行事のバックアップとコレジオの後援。 📖 召命を意識した子どもたちの将来・夢を育てましょう。
典礼 平本 義和 師	わたしたちは、祈りと御言葉の奉仕に専念することにします。 使徒 6・4	典礼が礼拝行為であり、信仰養成、宣教の場であることをふまえ、意識的、行動的、十全的参加を促すため、研究、企画、改革推進を図る。	教区主催の典礼行事をサポートする。大人を含めた典礼奉仕者の養成、聖歌の巡回指導、新しい祈祷書の作成。 📖 祈祷書・聖歌集を手にとって、新しい心で生き生きと典礼をささげましょう。「無言の傍観者」にならないように！
広報 山田 良秋 師	荒れ野で叫ぶ者の声がする。「主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ。」 ルカ 3・4	紙・電子媒体を通して教会の情報を発信・共有し、啓発のための情報提供を行うとともに、世の人々への福音宣教を目指す。	教区報「カトリック教報」の発行、教区ホームページによる情報発信、他各種問い合わせやマスコミへの対応など。 📖 手に取って読みたいくなる紙面づくり

主に感謝をささげ (詩編 33・2)

今年 2024 年に司祭叙階の節目を迎える司祭は長崎教区内に 6 人。ダイヤモンド祝 (60 周年) と銀祝 (25 周年) の方々にそれぞれお言葉をいただきましたので掲載します。現在教区外におられ、記念の節目を迎える長崎にゆかりのある司祭のためにもどうぞお祈りください。

ダイヤモンド祝

司祭生活のすべてに感謝

ベトロ 小島栄神父



できなかったので、野菜ならばという気持ちがありました。これもうまくいきません。私の司祭生活のすべてに感謝します。そして、主なる神とすべての人に自分のいたるなさに救いを願う毎日です。ありがとうございました。

52 年間の現役生活を経て引退してから 9 年の月日が経過しました。これほど長く生き永らえるとは思っていませんでした。1996 年に心臓のバイパス手術を受けて以来、健康的にすぐれない状態が現在も続いているからです。現在はずっととした時の流れのなかに身をまかせながら、少しばかりの畑いじりをしていきます。人を育てることがうまく

略歴 1937 年 10 月 11 日五島市生まれ。浜脇教会で受洗。中町教会出身。64 年 3 月 19 日大浦天主堂で司祭叙階。同年 8 月稲佐教会助任、66 年長崎公教神学校 (現長崎カトリック神学院) 70 年中町助任、71 年宝亀主任、74 年浦上助任、77 年 1 月桐助任、同年 5 月から主任、83 年長崎公教神学校校長、92 年アメリカ研修 (サバティカル)、93 年浅子主任、2001 年田平主任、05 年福江主任、09 年浦上主任、15 年 4 月引退。現在、大司教館。

叙階・選任・認定式

助祭叙階式

3 月 20 日 (水) 10 時 30 分 浦上教会

受階者

ボナベントウラ ホン チャン キ 洪 燦基 (浦上)

選任式

3 月 10 日 (日) 14 時 相浦教会

祭壇奉仕者受任者

ト マ 廣田 学 (鹿子前)

助祭・司祭候補者認定式 (信徒発見ミサ)

3 月 17 日 (日) 19 時 大浦天主堂

ベルナルド 森 翔真 (太田尾)

聖香油ミサ (司祭の日)

3 月 26 日 (火) 10 時 30 分 浦上教会

神様のお恵みに感謝

支援してくださった

方々に感謝

ベルナルディノ

萩原 榮三郎 神父



神様から原石を預けられて 60 年。この原石がダイヤモンドとは。この間、神様は研磨のために多くの名工を遣わしてくださった。しかし私の不徳のために、名工たちの研磨を妨げ、原石は原型の姿を呈している。それでも神様は名工たちを遣わし続けておられる。神様の愛と忍耐の何と大きいことか。これからは名工たちの研磨にすべてを任せ

感謝

パチフィコ 山内 春治 神父



司祭叙階 60 年を迎え、神様と信徒の皆様から感謝いたします。

この司祭叙階 60 年にはたくさんの思い出があります。いろいろの国やいくつもの教会、そして、修道会のたくさんの職務がありました。これらのことを神様のお恵み、マリア様に助けられて今日があります。すべてのことに感謝します。これからは、お年寄りの仲間たちと一緒に身体に気をつけながら、神様のみ国への道を歩い

銀祝

先生に恵まれた

フランシスコ・ザビエル

熊川 幸徳 神父



これまで支えてくださった全ての方々に感謝を申し上げます。とりわけ、小神学校時代の校長神父様はじめ養成者の神父様方には随分ご苦労をかけた。お礼の言葉が見つからない。今の私があるのは

感謝を忘れず

今後ともよろしく

お願いいたします

ミカエル 大瀬良直人 神父



離れても、離れようとしても、たくさん祈られ、ゆるされ、受け入れてくださり、迷い歩くこの弱い私を遠くから近くから目をとめて見つけていただいた、これまでお会

青少年と教会に

奉仕できることを願って

フランシスコ・アシジ

濱崎 敦 神父



田平で生まれ、幼少の頃、奈良県に引っ越ししました。叙階銀祝という節目を長崎で迎えることができるとは夢にも思っていませんでした。神のはからいの不思議さと恵みを感じます。そして、多くの

この教会を変えよう

下五島地区合同堅信式



なかったのは「覚悟」だったように、受堅者たちに求められるのも「覚悟」だとし、神の国を遠ざけてしまっているのは私たち自身かもしれないと省みながら、イエス様が先頭に立って変えに求めてくれたこと、罪をなすりつけるのではなく自らが引き受け、励まし立ち上がらせてくれたことを思い起こさせた。

長崎地区の教会でも

この時期の先生たちのおかげである。南山の先生方も素晴らしい。大神ではスルピス会入会に繋がる司祭との出会いがあった。我が身を振り返ると、胸を張れるものが一つもない。たつた一つの誇りは先生に恵まれたこと。先生方のご恩に報いる自今でありたいと切に願う。

略歴 1970 年 11 月 2 日五島市生まれ。玉之浦教会出身。99 年 3 月 3 日浦上教会で司祭叙階。同年 3 月長崎コレジオ、2002 年 4 月ローマ留学、06 年 8 月カナダ留学、07 年 8 月福岡サン・スルピス大神学院 (現福岡カトリック神学院)、13 年 4 月ローマ留学。20 年 4 月から福岡カトリック神学院。

離れたすべての人に、ただただ感謝の思いでいっぱいです。初心を忘れず、これからも、いろんな出会いを感謝のうちに大切に、日々丁寧にこの道を最後まで努めて歩んでいけるよう、皆様、これから、お祈りとご指導をよろしくお願いいたします。

略歴 1971 年 4 月 25 日長崎市生まれ。大浦教会出身。99 年 3 月 3 日浦上教会で司祭叙階。同年福江教会助任、2001 年 4 月俵町助任、02 年 4 月青砂ヶ浦助任、03 年 3 月滑石助任、04 年サバティカル、05 年 4 月丸尾主任、11 年 4 月黒島主任。17 年 4 月から三井業主任。

奉獻生活者のためのミサ

2 月 10 日 (土) 10 時 30 分

から浦上教会で、日本カトリック管区長協議会・日本女子修道会総長管区長会の主催による奉獻生活者のためのミサが行われた。

ミサは中村倫明大司教の主司式のもと、多くの司祭、修道者らが集まり、奉獻生活を送るすべての人々、また日本の全修道会のために特に初誓願 10 周年を迎えた方々へのエールと 2023 年に亡くなられた会員の追悼と感謝の意向をもって、祈りがさげられた。

お知らせ

― 菜募金の支援状況 ―

昨年 9 月、大雨により教会東側斜面が崩落した平戸ザビエル記念教会の復旧援助費として、平戸地区評議会へ 50 万円を送金した (2 月 7 日)。

感謝

― 香典返し ―

長崎大司教区

● レンデンプトリスチン修道会

長崎修道院長

右の方からご寄付・ご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

「隣人とはだれか」テーマに

第11回長崎キリスト教一致礼拝



れた。長崎キリスト教協議会とカトリック長崎大司教区の主催によるこの礼拝には、カトリック、日本基督教団、長崎バプテスタ教会、日本聖公会などから信者ら約70人が参加した。

全世界で行われるキリスト教一致祈禱週間(毎年1月18日～25日)にあたり、1月21日(日)14時から日本基督教団長崎古町教会で第11回長崎キリスト教一致礼拝が行わ

スポーツで健康増進と交流

司祭団マラソン大会

堤好治神父をしのび、ま

1月30日(火)、下五島地区で司祭団マラソン大会が開催された。司祭の健康増進を目的に始められたこの大会は、今年で41回目。4年ぶりの開催となった。



開会式では、発起人の神父たちや名誉会長だった

ます。すべての人の声が等しく届くような仕組みを作り上げなければいけないと思います。そこで、2022年10月に「カ障連長崎支部」を立ち上げました。立ち上げ後は長崎大会の準備に携わっていただいたので目立った活動はできていませんが、今後障害者の声を教区へと伝えていく団体となっていくことを期待しています。

障害者との今後の向き合い方

長崎全国大会実行委員会 事務局 片岡 英和

昨年10月に2日間にわたり、日本カトリック障害者連絡協議会(以下カ障連)長崎全国大会を行いました。大会実施に際し、中村倫明大司教様をはじめ多くの神父様、また信徒の皆様にも多大なご協力をいただきました。そのご協力もあり、参加者からは「今までで一番良かった」といううれしいお言葉もいただいております。深く感謝申し上げます。



今年元日から能登半島で大きな地震が発生し、火災・津波による被害など出ています。石川県は名古屋教区となり、そこにはカ障連の本部もあります。今後さまざまな支援を行っていかれるものと思

います。障害者への対応もカ障連の方で行っていくこととなります。そこで改めて長崎教区はというと、聴覚障害者に対応した団体、知的障害者に対する団体など、各障害に対応した福祉団体はあります。個別にカ障連とつながりを持ち活動しています。教区として統一した仕組みはありませんでした。それだけが理由ではありませんが、障害を持つ方々の声が教区まで届きにくい状況を作ってしまったという現状があります。

現在、社会的にもインクルーシブというものに注目が集まっています。2023年度 教区青年黙想会

日時 3月10日(日) 10時～15時
場所 長崎大司教館
対象 18歳～40歳の青年(高校生不可)
参加費 1000円
申込・問合せ先 各地区の担当司祭、大崎教会(電話) TEL 0956-47-6188

23年10月号既報。献金の残り15万円については、今年1月教区評議会にて寄せられたコング平和学園(フリカ)からの援助金増額の依頼に応える形で、「クリスマス愛の募金」からの50万円とこの15万円とを合

青年たちが参加し、新年スポーツ大会。1月21日(日)大司教館の体育館で、教区青少年委員会主催の新年スポーツ大会が開催された。これは、司祭団と18～40歳の青年たちとの交流を深め、青年の活動を励ますために毎年1月に開催しているもの。



子どもたちのための寄付報告。昨年7月雲仙メモリアルホールで開催された第10回召命フェスティバルでのミサ献金は総額34万4817円だった。これを35万円とし、フィリピン・ネグロス島の子どもたちと、ベトナム南部メコンデルタ地方カマウ省の子どもたちのために10万円ずつ送金した(2023年10月号既報)。

昨年12月に中町教会で開催された第28回子ども聖歌の集いに関し、この日集められた献金は、パレスチナの戦争で苦しんでいる子どもたちのためにカリタスジャパンを通して送られた」と報告した(2024年1月号既報)が、金額を次の通り明記する。献金額は26万4819円で、昨年12月7日に全額送金した。

2020年「被爆75年から5年間のチャレンジ」
<https://nuclear-free.net/>
核なき世界基金

カリス通信 3月号
カトリック幼稚園・保育園児傷害補償制度のご紹介

カリスでは「幼稚園」「保育園」「認定こども園」を運営されている各施設向けに、「カトリック幼稚園・保育園児傷害補償制度」をご案内しております。園の賠償責任に関する補償と、保育中の園児のおケガに対する補償をご提供します。

補償内容1: 園の損害賠償に関する補償
下記のような事故で、園が法律上の損害賠償責任を負うことにより被る損害を補償します。

- 施設の欠陥や管理不十分および業務遂行による事故
- 給食による食中毒など園が提供したものに起因する事故
- 預かった財物の損壊、紛失、など

カトリック共済システム 有限会社 **カリス** 連絡先 ☎ 0120-77-0033

補償内容1: 園の損害賠償に関する補償
園の管理下における偶然な事故による園児のケガ、熱中症による入院、通院を補償します。万一、死亡や後遺障害となった場合も対象です。「加入タイプ」は3通りご用意しています。0157などの特定感染症を対象とするタイプも選択いただけます。ご希望により教職員も補償の対象にすることができます。園を運営されている各施設の皆様、ぜひこの機会に加入をご検討ください。

※本ご案内は「施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・受託者賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険」についてご紹介したものです。ご契約にあたっては、パンフレットおよび各保険の「重要事項説明書」をよくお読みください。

私たちが、三條真英 毛利玲子 山本泰彦 お守りします。 服部秀昭 川口 薫神父(顧問)

カトリック共済システム 検索 23TC-007251 (2024年1月作成) リスク・補償に関してお気軽にお問い合わせください

なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 貴弘
☎ (095) 862-2469
長崎市花園町 23-17 立岩公園前

石碑 文字彫刻 墓地工事 リフォーム 墓地分譲

タンスの中身は入れたまま 責任ある安全運送!! (見積り無料・荷造り発送も致します)

水浦運送
シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町12-3
TEL (095) (代) 847-7151
携帯 090-7923-9005

24時間営業・年中無休 受付時間 7:00～22:00

貨物保険有り
・一般引越
・小荷物
・遠距離
・学生引越